

## 土佐中・高同窓会 関西支部 支部だより

# なんふう

第27号 2007・2

関西支部事務局 〒530-6001 大阪市北区天満橋1-8-30 OAPタワー1F MBE210 (アリコジャパン内)  
 TEL 090-1073-7822 FAX 0798-74-4063  
 (HP) <http://www.tosa-ko.org/kansai/> (e-mail) harada73@hotmail.com



**39回 川口清史  
立命館総長誕生**

沢近昌彦 (49回)

2007年1月1日付けで  
39回の川口清史 (かわぐち きよふみ) さんが学校法人立命館  
の総長に就任されました。立命

館総長は立命館大学の学長も兼務しており、京都の大学では京都大学の尾池和夫学長 (34回生) に次ぐ2人目の土佐高OB 学長の誕生です。

就任に先立つ12月の某日、同窓会関西支部の原田事務局長 (56回) とともに、JR二条駅近くの立命館大学朱雀キャンパスで、お話を聞きしました。

まず驚いたのは朱雀キャンパスの瀟洒な佇まいでした。煉瓦づくりの西洋建築風のビルは重厚さと軽やかさがあり、先端企業のヘッドオフィスを思わせる造り。広いロビーに入るとす

ぐに、受付けの女性がにこやかに「こんにちは」と歩み寄って出迎えてくださり、あとは流れるように大学本部のフロアまで。大学とも違う、企業とも違う雰囲気に、早くも川口学長の専門である「非営利組織論」、「経済・社会システム」という言葉や、これからの大手づくりへの思いが頭をよぎりました。

川口清史学長は、1945年(昭和20年)生まれ。高知市出身。

高知大学附属中学校、土佐高校、京都大学経済学部を経て、同大学大学院経済学研究科博士課程修了。立命館大学では1976年から18年間、産業社会学部在席され、その後に政策科学部に。2004年4月からは政策科学部

◆ 1980年代に立命館が大きく変わりましたが、経緯をお

聞かせください。

70年代の立命館は社会的使命として学費を安くすることに集中していました。そのことはある意味で誠実ではあつたが、学問研究、人材育成が十分だつたかといふ反省がありました。社会的な評価として就職が悪いとか、入試の志願者が減るなどの危機感もありました。社会に

貢献しようとする大学の思いと社会からの評価にすれば感じ、もつと社会の動きに對して敏感な大学でなければならぬと考えました。学生を大事にするという立命館の伝統はしつかり押さえながら、社会の動きに対応する大学にしようということです。

このため、80年代からの教

育研究に「国際」とか「情報」を入れ、それに相応しい学部学科を造ろうという努力をしてきました。草津に新しいキャンパスを造つたのも大きな契機になりました。

今後も、これ

からの大學生のあり方を世界に発信していく大学

となりたいと思つています。こ

れまで多くの国は、アメリカやヨーロッパの大学づくりに学んできましたが、従来のような経費をかけた大学運営が難しくなっています。立命館大学では、中国の内陸部の大学幹部の方に400名

◆立命館アジア太平洋大学や立命館小学校の狙いや成果は  
くらい来てもらつて、研修をしてもらつています。今後はベトナムの大学からも来てもらう予定です。



(立命館大学朱雀キャンパス)

TEL ○六〇六（六三六〇）〇〇二八九  
FAX ○六（六三六〇）〇〇三一

〒五三〇一〇〇四七 大阪市北区西天満二丁目十一番八号

アメリカンビル六階六〇一号室

◆立命館アジア太平洋大学や立命館小学校の狙いや成果は

どうですか。

2000年に別府市に開学した立命館アジア太平洋大学(APU)は、大分県や別府市の協力があつての大學ですが、学生の4割が世界100か国からの留学生。この比率を維持するのには苦労しますが、日本人の学生にとって、大学生活でそのまま国際的なネットワークを築くことができるという大きなメリットがあります。ある種の大学革命ができたと思います。

2006年に開校した立命館小学校については、私学が小学校をつくつてファミリー化を図るという流れも否定はしません。しかし、それだけでなく、小学校も含めた日本の教育を変えていく必要を感じての取り組みです。幸い立命館には中学校ま

た一環として、私学ならではの実践をしつつ、日本の教育システムに対して発信していくことに成功していると 思います。

立命館大学には教育学部はないのですが、京都市の教員採用では最も多くの就職実績があり、小学校の教員資格も多くの学生が通信などで取得しています。このため、来年度には産業社会学部にその養成課程をつくる予定です。

立命館では、学生部次長だった1983年に、アメリカンフットボール部を強化指定部にし、平井ヘッドコーチを招聘して成果をあげました。入試もスポーツ選抜という制度を始め、その第1期生が大リーグに行つた長谷川滋利(元シアトル・マリナーズ)現評論家)。立命館では野球部であつてもきちんと単位をとらないと公式戦に出さないので大変ですが、文武両道の核になる選手が欲しいのではないかと思ひます。

「これで高知は浮上する」というひとつのこととは難しいのではないかと思ひます。色々な努力をすることが必要ですが、最近は「ワークラウドバランス」ということを考えていました。

京都は学生のウエイトが高く、勉強する環境が整っています。最近は大学を超えたイベントや、授業の相互開放が進んでおり、「京都で学ぶ」という魅力をもっと知つてもらいたい。京都はそういう大学の知的資産を生かした社会づくりもあり、電子デバイス産業などが盛んです。最近はそれが滋賀県にも波及しています。

◆高校時代について、スポーツについて、京都についてお聞かせください。

高校時代は新聞部に在席し、生徒会長もやりました。新聞部の大会で東京に行つたことや、運動会の大やぐらなどが印象に残っています。

立命館小学校については、私学が小学校をつくつてファミリー化を図るという流れも否定はしません。しかし、それだけでなく、小学校も含めた日本の教育を変えていく必要を感じての取り組みです。幸い立命館には中学校ま

◆最後に高知県について  
「これで高知は浮上する」というひとつのこととは難しいのではないかと思ひます。色々な努力をすることが必要ですが、最近は「ワーカーライフバランス」ということを考えていました。

これから成熾型社会で

## 母校と関西支部同窓生の ご発展をお祈りします

医療法人  
中城クリニック

〒533-0031

大阪市東淀川区西淡路 4-25-70

TEL 06-6327-5002

中城 義之 (39回生)

師走某日、ここ数年めつきり  
出番の減った厚手のコートをタ  
ンスの奥から引っ張り出し、地  
下鉄御堂筋線中百舌鳥（なかも  
ず）駅近くの大坂府立大学中百  
舌鳥キャンパスを訪ねました。

中城義之、39回生。大阪の中心  
部であるキタからミナミへ南北  
として、高知を売り出したほ  
くら「子供がきちんと育つ場所」  
「ライフバランスのとれた  
「御堂筋」・・・大阪の中心  
部であるキタからミナミへ南北

は働くだけではダメで、働く  
ことと家族・暮らしといった  
生活とのトータルバランス  
が求められます。少子化やい  
じめといった課題も、そのこ  
とに関わっているのではないか  
と感じます。働く場所の確  
保は確かに重要ですが、ワー  
クライフバランスのとれた  
「御堂筋」・・・大阪の中心  
部であるキタからミナミへ南北

## 同窓生訪問記

幹事

片山保行 (49回)

4キロメートルにわたって延び  
る幅44メートルの大坂を代表  
する道路です。その両側には約  
800本のイチョウの木が植え  
られており、ビジネスの中心で  
ありながら四季折々の表情を見  
せてくれます。

今回登場していただくのは、  
土佐高49回生、大阪府立大学大  
学院 教授 吉田篤正さんです。  
吉田さんのご専門は工学研究科  
機械工学分野、主として、環境  
工学の研究に携わっていらっしゃ  
います。その吉田さんに、「御  
堂筋のイチョウの凄さ」を熱く  
語っていただきました。

吉田さんは神戸生まれの大  
阪育ち、お父様の仕事の関係で  
中3の秋に高知市の愛宕中学に  
転校されました。高校受験を間  
近に控えた大事な時期の転校だ  
っただけに、高知に行くか、大

阪育ち、お父様の仕事の関係で  
中3の秋に高知市の愛宕中学に  
転校されました。高校受験を間  
近に控えた大事な時期の転校だ  
っただけに、高知に行くか、大

うがいいと思います。

阪に残るか、かなり迷われたそ  
うですが、「高知にも、土佐高と  
いうりっぱな進学校がある」と  
いうお父様の言葉により、高知  
行きを決心されたそうです。翌  
春、無事に、というか、予定通  
り土佐高に進学。高校時代の思  
い出をお聞きすると、「編入生  
なので、とにかくみんなに追いつ  
くのに必死でした。入学して  
すぐの朝の補習がきつかった。」  
そうです。

### 土佐高卒業後、京都大学工学

部機械系学科に進まれましたが、  
「実は高校時代から、天気や氣  
象に興味があり、気象大学に行  
きたかった。」のだそうです。京  
都大学では、主に、大気中の塵  
や火山灰などが気象へ及ぼす影  
響を検証されていました。「今  
でこそ地球温暖化、ヒートアイ  
ランド現象などと取沙汰されて  
いますが、当時は、スマッグに

より日射が遮られ、この今まで  
は地球が寒くなると言わてい  
たのを憶えますか。」なるほど！  
そう言われてみればそうで  
したよねエ、皆さん。

その後、約10年間岡山大学で  
教鞭を執られた後、2002年  
に現在の大坂府立大学に移られ  
ました。前述の通り、環境工学  
がご専門で、一言で表現すると、  
“ヒートアイランド現象の緩和”  
に関する研究をされています。

### ここでの御堂筋のイチョウの 凄さのお話です。

「アスファルトジャングル  
のど真ん中でしつかりと生き抜  
き、春から夏にかけては緑の  
カーテンで太陽の熱光を遮るこ  
とににより日陰をつくる。秋には  
葉の色をあざやかな黄色に変え  
て、自ら葉を落とし、  
寒い冬には、自ら葉を落とし、

天からの恵みである太陽の光を  
地上に届ける。人間の体感温度  
は、気温、湿度、風、日射、着  
衣、代謝によつて左右されると  
いわれますが、それ以外にも、  
熱のバランスを保つための植物  
の役割は計り知れないので。  
植物が自らの葉の温度を保つた  
めに水分を蒸発させる“蒸散作  
用”には、いわゆる“打ち水”  
としての機能があるので。御  
堂筋のイチョウ並木は、まさに  
天然のクーラーなので  
す……」

大阪府は、「日本一暑い都  
市」という汚名を挽回すべく、  
①夜間の気温を下げ、2025  
年までに夏の熱帯夜日数を現状  
より3割減らす。②屋外空間に  
クールスポットを創出し、夏の  
日中の熱環境を改善し、体感的  
な温度を下げる。という、ヒー  
トイランド対策推進計画を立

てています。吉田さんは、大阪  
府のこのようない境対策委員会  
の委員をされており、街の気温  
をどうやつて下げるか、また体  
感温度の低い地域をいかにして  
おられます。また、大学の地元  
である堺市でも環境アセスメン  
ト委員会に参画され大気汚染問  
題を担当されています。他にも、  
ダイオキシン問題で有名になっ  
た兵庫県川西市の新ゴミ処理施  
設建設の委員もなさっています。  
「この案件は川西市、猪名川町、  
能勢町、豊能町合同で進められ、  
すでに新しいゴミ処理施設の建  
設が始まっていますが、建設に  
至るまでの地元住民との調整が  
大変だった。」そうです。

最後に、学生の進路について  
お尋ねしました。「本人の資質  
に合った進路指導をしています。  
鉄鋼、電機、自動車など進路は  
多岐にわたりますが、組織に埋

まつてしまふのではなく、自分の特性を生かして、自分がメインになれるような会社を選ぶようアドバイスしています。」とのことです。

取材を終えて、「そうだ、久しぶりに御堂筋を歩いてみよう」・「そう思い立った私は地下鉄を本町駅で途中下車し、ぶらり梅田に向かいました。永年、御堂筋周辺の建物は高さ100尺（約31メートル）までに規制されてきましたが、数年前から壁面後退などを条件として高さ制限が緩和されているそうです。最近建設された御堂筋沿いの高層ビルの前には

関西支部同窓生の皆様にはますますご清勝のこととお慶び申しあげます。平素は母校に対し格別の思いをお寄せいただき、ご支援を賜わっておりますことを有難く厚く御礼申しあげます。

親父ギャグを乱発し、周りの

空気を寒くするくらいしか能ない私には、吉田さんの研究内容と人となりのほんの一部しか紹介することができません。吉田さんの研究の成果により、大阪が、快適性を考慮した都市づくりの模範となるような住み良い都市になることを願うばかりです。今後の吉田さんの益々のご活躍を心よりお祈りいたします。

## 母校だより

校長

池上武雄（28回生）

今般全国の進学校を中心として発生しました必修科目の履修漏れ問題につきましては、本校に於ても数科目の履修漏れを発表し、多くの指弾を受けましたことは、全て校長の責任であります。今後も吉田さんを心からお詫び申しあげます。問題発生時から生徒並びに保護者の皆さんに大変なご心配、ご迷惑をお掛けいたしましたが、幸い文部省の救済策も出され、高3生への補習は本校の場合「70時間の補習とレポートの提出」ということになりました。センター試験や大学入試に極力影響のないよう補習スケジュールを考えました。その結果卒業式は例年1月末に行つておりますが、本年度は補習終了時の3月3日に延期せざるを得なくなりました。また月曜日の午後の時間（従来は月曜日と土曜日が4

**株式会社 ザンメイ**

本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-13  
TEL 06-6261-3477・FAX 06-6261-3479

**土佐産商株式会社（土佐町第三セクター）**

〒560-0081 大阪府豊中市新千里北町3-1-6  
TEL 06-6836-0101 FAX 06-6836-0100

取締役会長  
中塙 賴彦（31回生）

**kinoshita pearl**

神戸本社 神戸市中央区山本通2丁目1番4号（北野坂）  
TEL 078（221）0487  
FAX 078（242）4068  
東京本社 東京都中央区銀座7-8-5植松ビル  
TEL 03（3571）1001  
FAX 03（3571）9672  
高知支店 高知市百石町1-8-13  
TEL・FAX 088（831）9696

**株式会社 木下真珠**

代表取締役会長 木下 章夫  
(31回生)

時限授業です)を使って、全員が未履修の「情報」について、高知工科大学の島村和典教授(42回生)や岩田誠教授(お子様が在校生)に特別講演をお願いし、高3生全員が講堂で受講するなど補習を進めております(朝日新聞朝刊全国版で受講写真が報道されました)。幸い生徒達はこのことを冷静に受けとめ大学入試に集中して取り組んでくれておりますので必ずや例年以上の好成績をあげてくれるものと期待しております。

もちろん平成19年度から実行する新しいカリキュラムについては、必修の未履修科目をなくし、規定通りの正しいものとするほか、生徒の必要に応じて科目選択を可能にする本校独自の優れた点は残す形で考えております。ただ授業時間を増す関係上來年度から月曜日も6時限授業となります。

### 新校舎建築プロジェクトの推進状況

7月13日の評議員会、理事会

でC.M.会社最終選考に残った3社の中から㈱三菱地所設計様と

すので近々皆様方へ募金のお願いもさせていただく予定です。その際には何とぞご協力の程よろしくお願い申しあげます。

皆様のますますのご健勝、ご活躍を祈念申しあげ近況ご報告とさせていただきます。

# 本部だより

副幹事長

西山彰一（48回）

「かますと椎の実」

関西支部のみなさまにおかれましてはお元気で良い新年をお迎えになられた事と存じます。昨年の11月12日に寒風山を越えて愛媛県西条にあるビル工場を見学するバスツアーに参加しました。地球規模での温暖化の影響でしようか金木犀の花も開花が例年より二週間ほど遅

途中の道の駅では秋の香り豊かな野菜、果物、花、くり、そして懐かしい椎の実が店先に並んでおり、紅葉狩りと買い物を楽しみました。

椎の実には忘れられない想い出があります。その想い出とは、私が中学校の一年生の頃、はりまや橋で焼きたての椎の実を買い、電停の近くで食べていた所を吉本要先生（カマス）に見つかりました。見つかってどうにかして吉本先生はじつと私を見つめておられ、気にはなつていましたが次の日の3時間目にすれ違うたびに私の顔を見ながら

特に美しく山の中にもう一枚のすばらしいキャンバスが置かれたような景色になっていました。秋の訪れと共に楽しむ椎の実は昭和42年当時の木造校舎のどかな雰囲気でも思い出させてくれます。木造の校舎は夏は暖房、冬は冷房と言われるようあまり快適ではありませんでしたが、今思い起こしてみると、鉄筋の今の校舎にはなかつた味わい深い物があつたように思います。

これから誕生する新しい学舎の中に教職員の皆様、在校生、保護者の皆様そして卒業生の理解と協力によつて良き母校の校風が必ず引き継がれることを確信いたしております。母校創立100年の歩みの大事業である新しい学舎の創造に向けて、同窓生の皆様の暖かいご理解と

れておりました。高知から西条に向かう国道194号線ルートで、標高が高くなるにつれて紅葉が美しくなつて参ります。本川村の秘境、一ノ谷館の紅葉は

ダンススクール大坪

代表 大坪 浩二（68回生）

JDCスタンダードA級  
西部日本ファイナリスト

〒572-0080

大阪府寝屋川市香里北之町2-3  
富士香里ビル3階

TEL/FAX 072-835-2252

ご支援を衷心よりお願い申し上げます。

# 関東支部だより

副幹事長

上野典子（51回）

関西支部の皆様、ここにちは。新しい年を迎える、土佐弁と関西弁を巧みに操りながら強靭

な肝臓を駆使し、たくさんの新年会をこなされていらっしゃることと存じます。

私は2000年秋の関東高知県人会での佐々木泰子先輩（33回）の笑顔のリクルートを経て、2001年総会準備でお会いした素敵なお嬢様の諸先輩方（41回）の魅力（！？）にノックダウン。以来、はちきん会開催や会報誌「筆山」の編集會議要員（？）をさせていただきて、一年からは副幹事長を拝命したのですが、その実質的な他支部デビューが、昨年2月の関西支部総会への出席でした。

京都での大学生活と結婚後の4年間を神戸で過ごした私にとって、関西は特別な土地。ただ三都のうち大阪には馴染みが薄かったので、この同窓会でどんな思い出が、とワクワクしながらの新幹線でした。

京都での大学生活と結婚後の4年間を神戸で過ごした私にとって、関西は特別な土地。ただ三都のうち大阪には馴染みが薄かったので、この同窓会でどんな思い出が、とワクワクしながらの新幹線でした。

さてそのよさこい、ご存じのように毎年8月末には「スープ・よさこい」として原宿に響きわたりますが、昨夏は「ロツテ・ガーナよさこい連」が結成され、現役の土佐高生とガーナの高校生、そして地元の麻布学

生20数年、観客として見るだけでした。しかしながらよさこいを踊るなんて！しかもあのリツツカルトンに「よつちよれよ！よつちよれよ！」が響きわたるなん

て！！大きな渦がグルグルと何周もの大円陣は圧巻でした。いたいたアルコールも体の隅々に届いたようで、車窓からの関ケ原は一面の雪景色という底冷えの夜でしたが、寒さを感じぬ夜でした。

今でも大阪を訪れる度に、カーレトンを眺めては一人で思ひ出し笑いの私です。

园と女子学院の高校生達との競演が実現したこと。残念ながら実際に見ることはできませんでしたが、ほとばしる汗と大きな声、負けん気たっぷりのはじける笑顔が思い浮かびませんか。

数年前に麻布のPTA役員をしましたので少しだけ関わらせていただきましたが、「井の中の蛙」になりがちな土佐高生

にとって、同時代を生きる生身の高校生達との出会いは大きなプレゼント。「自由闊達な校風」のもと「自主・自立の精神」を大切に「・・幅広い教養を身につけていく」学校（学校案内より）でありたいという麻布の『自由』を、文字通り肌で感じたのではないか。こんな素晴らしい企画を実現させて下さる諸先輩方に恵まれた今の土佐高生達を羨ましく思うのは私だけではないでしょう。もう一度、

白線の制服時代に戻りたい・・・かな。

しかし、現実には卒業30周年を迎えた私達51回。昨年のホーミカミングデーとその後の懇親会では、地元高知の幹事諸氏のお世話でタイムスリップを果たして大いに盛り上がり、秋には汐留からの夜景を肴にミニ同窓会も開きました。

そんなこんな懐かしい笑顔のパワーを胸に、小指の先の『赤い糸』ならぬ『土佐のえんじ色の糸』がどんな風に結ばれていくのか、今年もしっかりと楽しみたいと思っています。

**東海支部だより**

事務局長

神宮美恵子（44回）

関西支部の皆様、こんにちは。お元気でご活躍のことと存じます。

す。

暖かい秋のせいで遅かつた紅葉ですが、きれいに色づいた銀杏の街路樹も北風に吹かれています。

名古屋駅前の超高層ビル「ミッドランドスクエア」のオフィス棟が10月1日に開業しました。約6,000人の従業員がこのビル内で働くことになるということで、名駅（めいえき：こちらでは名古屋駅のことをこう呼びます。中村区名駅という地名もあります。）の人の流れが変わると言われております。名古屋駅のセントラルタワーズ、ルーセントビル等の超高層ビルが名駅前の風景をすっかり変えてしましました。今の時期はクリスマスのイルミネーションが輝いていて、昔の田舎くさいイメージの名古屋駅とはかけ離れた雰囲気です。「元気な名古屋」と言わざ始めてからもう何年も

経ちますが、名駅や栄（さかえ）地区では、東京の資本による土地やビルへの投資が盛んでバブル状態だということです。

一方、こちらの小学生の遠足定番コースである東山動植物公園の再生プランが現在検討されています。名古屋市東部の私の

自宅からは、植物園をゆっくり回って帰つてくると3～4時間ほどで休日には絶好のウォーキングコースですが、自然林が残つてある公園面積を拡げてここに里山を再生する計画で、今からとても楽しみにしています。

さて東海支部では、5月の総会に続いて支部の二大行事の一つである懇親会が11月19日に開催されました。総会と比べるとこじんまりと和やかな会ですが、恒例の出席者全員による一言スピーチがとても興味深く、

これぞ土佐高同窓生の真骨頂と言いますが、多士済済ぶりがう

かがわれ、楽しい会となりました。その一部をご紹介すると、関西支部や関東支部とは違つて規模が

小さい支部ではありますが、同窓会活動に参加していただく若い方が少しでも増えていくようそして庄巻は、内田順子さん（35回生）の日本

国憲法の前文と第9条の「朗説」です。内田先輩の美声による堂々とした朗説は心に沁みました。

また、美人でいつも明るくて東海支部のアイドルであった小林幹事（74回生）（私達はいつも“愛ちゃん”と呼ばせていただいておりました。）がお仕事の都合でご実家のある

関東に転居され、東海支部一同がつかりしております。関西支部や関東支部とは違つて規模が



つております。特に、ハチキンパワーよ、来たれ！

最後に関西支部の皆様のご健勝とご健康をお祈りして支部だよりとさせていただきます。

## 香川支部だより

事務局

大石 浩（54回）

関西支部のみなさん、こんにちは。香川支部事務局担当の大石と申します。

さて、今年の香川支部総会は、例年どおり七夕総会と称して7月第一土曜日の7月1日に開催し、19回生の大先輩から72回生の若手まで44名の仲間が集まつて、例年同様、大いに盛り上がりました。当日は、母校から三浦教頭先生をはじめ、同窓会本部、各支部役員の皆さんにご出席いただきました。関西支

部からは上田幹事にご出席いたしました。私事になりますが、上田先輩は、私が在校時代の吹奏楽部の先輩でもあり、久しぶりにお会いして、当時トロンボーンを担当されていた上田先輩の往年の姿を思い出し、懐かしい昔話ができました。ご多忙の中、また遠路を本当にありがとうございました。

今回の総会では、役員の交替がありました。これまで長く支部長を務めていた土田哲也支部長（32回）から支部長交代のお話があり、宮地正隆幹事長（36回）が新支部長に、中澤正良幹事（38回）が新幹事長に就任することとなりました。その他にも、転勤により2名の役員が交替となりました。なお、土田前支部長には、顧問に就任いたしました。引き続き支部活動を支援いただくこととなりまし

た。新体制となりますが、今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、これまでにもご紹介してきましたが、かつて四国の玄関口といわれた高松ですが、近年の再開発で駅周辺はすっかり様変わりし「サンポート高松」として生まれ変わっています。香川支部の総会も、一昨年からこのエリア内にある「シンボルタワー」で開催しています。中心となるのはもちろんJR高松駅です。瀬戸大橋のおかげで、今では高松はじめ四国各地から岡山まで特急列車が直結し、京阪神や東京への移動時間はずいぶん短縮されました。一方、駅前にはバスターミナルが新しく整備され、最近利用度が高まっている高速バスが数多く発着しています。とくに近年、大阪はじめ関西圏への移動は、明石・鳴門ルートで高速バスを利用する

人が増えました。早く安くて、梅田、難波、三宮など各都市の中心部に直結する便利さが受けているようで、ビジネスはもとより、土日には、大阪や神戸にちょっと日帰りでショッピングという女性陣も多いようです。また、マイカーの場合でも、明石・鳴門ルートを使えば、高松から神戸までの所要時間は2時間半ぐらいで、高知に帰るのとそれほど変わらない時間で、関西に行けるようになりました。

もちろん、大都市特有の激しい渋滞に遭わなければの話ですが……。

鉄道、架橋、高速道路などインフラ整備で、四国から本州への距離はずいぶん縮まりました。それでも、日常の人の流れは、四国から本州へ「出る人」のほうが「入る人」より多いような気がします。四国が元気になつていくためには、これまで以上

に、域外からたくさんの人々に来てもらうことが大切です。インフラは不可欠ですが、ソフト面でも、四国の魅力をもつとアピールしていくことが大切かも知れません。

関西支部の皆さんも、お休みの日には、気軽に高松まで足を伸ばし、映画「UDOON」や「セカチュウ」の世界を堪能してみて下さい。最後になりましたが、皆さまのますますのご活躍・ご健勝をお祈りいたします。

## 広島支部だより

幹事

大谷準一（51回）

関西支部の皆様こんにちは。

広島支部では、宮島の紅葉も色付いた十一月二十五日（土）に、県民文化センターにおいて、広

島支部総会を行いました。学校から、間谷先生夫妻（40）、小村先生（49）。本部から北村副会長（47）、千頭本部会計（58）。各支部から、関東支部 山中副幹事長（24）、東海支部 神宮事務局長（44）、水谷顧問（22）、関西支部 片山幹事（49）、香川支部 広田幹事（56）。そして、講師として筒井康賢様（41）の各御来賓をお迎えし、総会後、筒井康賢様に「ものづくり技術の最前線」をテーマに約一時間の講演を賜りました。他に真似出来ない技術力、知識を蓄積していくことの大しさを痛感いたしました。

今回は、学校から池上武雄校長先生が来広される予定でしたが、未履修問題の為、残念ながら急遽取り止めとなってしまいました。未履修問題が発覚した時、土佐高校は大丈夫かと懸念していたことが現実となつてしま

いました。朝日新聞にも体育馆で授業を行う高三生の写真が載つておりましたが、現在の高三生にはかなりの負担となる事と思います。しかし、今年の高三生は近年に無く成績が良いとのことで来年の総会での母校近況報告では良い報告が聞けると、期待しております。

私事で恐縮ですが、今年は51回生の卒業三十周年で、夏に母校に行つて参りました。母校は、卒業した年に担任の武中先生に大学入学の報告にお伺いして以来、実に二十九年ぶりとなりました。高校時代クラブ活動で毎日のように通つていた体育馆、また体育馆下の部室を見て、変つてないことに驚き、懐かしさがこみ上げて来ました。その体育馆で行なわれる本部総会に参同窓会を開催する土佐高校を誇りに思います。特に広島支部は沖支部長（40）のもと、女性主導の「はちきんパワー」に男性陣は感謝しつつ活動しております。

級生が集まり、ワイワイ、ガヤガヤ当時の思い出、現在の近況を語り合い、とても三十年ぶりの再会とは思えぬ様な親密さで楽しい時間を過ごす事が出来ました。翌日には、ゴルフコンペを行い、このコンペは年に数回開催される事となりました。高知を離れて三十年になり、高知には年二回、盆と正月には帰省しておりましたが、同級生と会うこともほとんど無く、今回このような形で皆と再会出来、郷の念が募つております。

こうした話を広島の友人に話すと皆、不思議がり、うらやましがります。同級生のみならず、先輩後輩との繋がりのある同窓会を開催する土佐高校を誇りに思います。特に広島支部は沖支部長（40）のもと、女性主導の「はちきんパワー」に男性陣は感謝しつつ活動しております。

す。来年の広島支部総会には各支部から、よりたくさんの方の参加をお待ちしております。

北海道支部だより

幹事

服部 弘（49回）

温暖化の影響でしようか、私の住んでいる旭川では雪は何回か降つたものの、平年であれば根雪宣言の出される11月下旬になつてもまだ銀世界には程遠い状態です。

さて、北海道支部は設立してやつと一年半が経過したばかりの若い支部です。田原支部長（37回生、北海道大学農学研究院教授）の下、64名の会員が在籍しています。その北海道支部総会が9月30日に支笏湖畔の丸駒温泉旅館で開催されました。母校からは濱田教頭先生にお越

しいいただきました。また、同窓会本部から安岡幹事長にご参加いただき、関東・東海・広島の各支部からも多数のご来賓の方々にご出席を賜りました。この結果、北海道支部からの総会出席者よりもご来賓の方のほうが多いという珍現象が起つてしまいました。当日は当支部の窪田幹事長（38回生、株富士メガネ社長）に「第一回朝日企業市民賞およびUNHCRナンセン難民賞受賞『富士メガネ海外難民眼鏡寄贈ミッション』について」と題して記念講演を行いました。（同社の眼鏡を通じた海外難民支援活動は23年に及び、本年7月に難民支援のノベル賞とも言うべきナンセン難民賞を同社金井会長が受賞されました。）当日は局地的大雨の中での開催でしたが、夕刻には天気は回復し、支笏湖の水位に合わせて湯量が変わること北

海道でも珍しい露天の立ち湯を楽しむことができました。また、翌日は前日とは打って変わつて晴天が広がりました。また、ゴルフ組、観光組ともに北海道の自然を満喫していました。ただけたものと思ひます。

来年度は時期を変えて7月に札幌で総会開催を計画しています。懇親会では北海道の味覚をたっぷり楽しんでいただく予定ですので、関西支部の皆様も是非ご参加ください。時期的に観光には最適の季節です。富良野・美瑛、更には旭川の旭山動物園にまで足を伸ばしてみてはいかがでしょうか。お待ちしております。

ところで、冒頭に温暖化に触れましたが、関連してもう少し。旭川は北海道の中でも有数の寒冷地ですが、ここ数年は市街地で最低気温がマイナス20度を下回る日は1~2月でも数日程度になっています。これでも十



分寒いのですが、地元の人に聞くと90年代前半にはマイナス30度を超える日が1年のうち何日かはあったとのことです。北海道は最近になって異常低気圧や竜巻といった災害にも見舞われていますが、これも温暖化の影響かもわかりません。このまま行くと20年もたたないうちに北海道の気候がすっかり変わってしまって、冬も寒くなくなり、とても住みやすい環境になつているかもわかりません。

これから将来のお住まいを考えようという方には北海道をお勧めしておきます。

## 再び大音響の夏!! HOME COMING DAY

関西支部長

川崎美栄子（42回）

同窓会総会が二年にわたりつ

て、よさこいまつりの終盤と重なつていたためラッキーにも二年続けて、ながら見たことのなかつた鳴子踊りを見ることができた。特に今年は、高知県産の踊り子隊のしかも、金賞、グランプリなどの上位入賞の群舞を見ることができたのは収穫であった。一糸乱れぬ展開を見せる踊りに、まったくレベルは違う踊り、「ホームゲーム」の演出の夏を思い出していた。全体の企画に衣装、音楽の決定から録音、踊りの振り付けから、担任教師をメリーポピンズに仕立て上げるまで、すべて、自分たちでやつた。今から思えば、こんなことのできる子供たちに仕事ができないはずがないではないか。

病院のなかでは毎年、新しい研修医が入ってくる。凄い大学を出ていて、「僕、活字読むの、嫌いです。」と平氣で言う。病状説明がうまくできない、そ

んな医者が増えてきて、もうかなり長くなる。教育基本法がこのニュースが出るころにはもうなかつた鳴子踊りを見ることが変わっているかもしれないが、学園祭や運動会は流れとして減ることになるという。

それは違うだろうと思う。三択や四択の問題を解くのも大事だが、紙飛行機をうまく飛ばすにはどうするか？竹とんぼをどう削るか？こういつた脳の使いかたを、今のこどもたちが出来ているのか？と考えてしまう。

タクシーの運転手さんは、自ら、県内の踊り手たちは、自分で切つてよさこい踊りに参加しているのだそうだ。まつりが終ると、すぐに来年に向けての練習に入つて、これがまた、なかなか厳しいという。

そんなに踊りの好きな県民であつたのか、と自問するがよくわからない。ともかく、ごらんになつたことのない諸姉諸兄

関西支部同窓生の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます



四国銀行 大阪支店

田處 良一(64回生)

岸田 直親(67回生)

〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目6-8  
TEL: 06-6252-7001 (代表)  
FAX: 06-6252-7610

高知県大阪事務所

稻 岡 沢	毛 林 近	穂 稔 昌	憲 典 彦
-------	-------	-------	-------

〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目6番8号  
センバセントラルビル1階  
TEL (06) 6244-4351  
FAX (06) 6244-7933

は、一度ホームカミングデイを兼ねて帰郷あれ。アマチュアとは思えない完成度である。

## 関西支部より

◎関西支部活動報告

【2005年】(前号ご報告以降)

関西支部会報「なんぶう」

(第26号) 発行。

11月1日

総会(2006年2月)のご案内状と共に会員約130名に発送。

（第26号）発行。

5月20日

広島支部総会(於広島県民文化センター)に山下成子幹事が出席。

11月6日

幹事会開催。2006年度総幹事会について打ち合わせ。

6月10日

関東支部総会(於東海大学校

【2006年】

1月21日

幹事会開催。総会について最終打ち合わせ。

7月1日

友会館)に原田和人事務局長が出席。

2月4日

関西支部総会ならびに本部・支部連絡協議会を開催。

出席者93名。(於ザ・リツ

ツ・カールトン大阪)

2月28日

幹事会開催。次回総会の日時・場所について協議。

2007年4月21日(土)都

ホテル大阪を予定。

幹事が出席。

8月12日

本部同窓会総会(於母校)に川崎美栄子支部長、山下成子

幹事が出席。

11月13日

幹事会開催。2007年度総会打合せ、ならびに「なんぶう」(第27号)編集会議を開催。

11月25日

広島支部総会(於広島県民文化センター)に片山保行幹事が出席。

香川支部総会(於高松シンボルタワー)に上田良平幹事が出席。

12月1日

幹事会開催。2006年度総幹事会について打ち合わせ。

6月10日

関東支部総会(於東海大学校



株式会社 タップ

代表取締役

北古味 鈴太郎  
(68回生)

〒550-0001

大阪市西区土佐堀1-6-20 新栄ビル11F  
TEL: 06-6449-5345 FAX: 06-6449-5340  
MAIL: orindono@herb.ocn.ne.jp  
jamobil-phone: 090-3052-1814

松並法律事務所

辯護士 松並 良由一  
(58回生)  
辯護士 下河邊 香仁  
辯護士 石堂 一

事務所

〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号  
幸田ビル7階  
TEL (06) 6365-8600 (代表)  
FAX (06) 6365-8610

◎平成19年度関西支部総会・懇親会のご案内

### 日 時

2007年4月21日(土)

### 受付

午後5時～

### 開宴

午後6時～8時30分

### 会場

都ホテル大阪4F浪速の間

〒543-0001

大阪市天王寺区

上本町6-1-55

近鉄上本町駅北隣り・地下

鉄谷町九丁目駅から徒歩

5分

TEL(06)673-1111

### 会費

社会人…10,000円

同伴…8,000円

大学生…3,000円

奮つてご参加下さい。

事務局までお寄せ下さい。

メールアドレス  
(harada73@hotmail.com)

◎平成19年度会費振り込みのお願い

1口2千円で何口でも結構です。同封の振替用紙でお振り込み下さいますようお願い申し上げます。

### 編集後記

次号(28号)『なんふう』の原稿を募集しております。近況

報告、趣味の話し、食べ物の話し、高知の話し、同窓会やメーリングリストの案内など、内容を問いません。皆様の原稿、お待ちしております。

**アリコジャパン**  
中之島エイジェンシーオフィス  
2006年度MDRT成績資格会員  
シニアコンサルタント  
**原田和人**(56回生・野球部)

〒530-6037 大阪市北区天満1-8-30  
OAPタワー 36F  
TEL 06-8882-7541 FAX 06-6357-3562  
携帯 090-1073-7822  
E-mail:AG.harada.kazuhito@aig.co.jp



A Member of American International Group, Inc. AIG

5月に江坂駅前にて歯科医院を開院します。  
インプラントと審美を主体にしております。

歯科医

**安岡大志**(69回生)

住所:吹田市豊津町2-11  
E-mail:cufqv900@occn.zaq.ne.jp

**アクア淀屋橋**  
法律事務所

所長

弁護士/ニューヨーク州弁護士

**松本徹**(56回生・野球部)

弁護士

**藤井誠人** 中川みち子

〒541-0041 大阪市中央区北浜3-1-21 松崎ビル2F

TEL:06-6231-0987 FAX:06-6229-0088

E-mail:matsumoto@aqua-law.com

URL:<http://www.aqua-law.com>



**大津赤十字病院**

眼科 副部長

**松本美保**(56回生)

(旧姓 竹村)

大津市長等一丁目1-35

TEL 077-522-4131

FAX 077-522-4385